



メッシュデザインをフィンスポークで挟み込んだようなダブルデザインを採用。内側のメッシュ部が曲線で描かれるため、流麗さが際立つ意匠だ。スポーク天面が極限まで細く、軽快でシャープな印象となるのも特徴。スポークの高低差が強く、立体感も極上。



スポークエンドはかなりの極細で、アンダーカットも施される。輝くリムへの映り込みの美しさにもこだわったシャープで緻密な造形だ。

伝統の「シュヴァート」がさらに進化 フィンとメッシュの良さを緻密に融合



SIZE	H-PCD	PRICE
19×7.5J～12.5J	5-114.3、5-120、5-100	8万2500円～9万5700円
20×8.0J～12.5J	5-114.3、5-120、5-100	9万4600円～10万6700円
21×7.5J～12.5J	5-114.3、5-120	10万8900円～13万3100円
22×8.5J～12.5J	5-114.3、5-120	14万800円～16万600円

• カラー:プリリアントシルバーブラック、シルキーリッチシルバー
• 構造:铸造2ピース

Matching Car GARAGE VANNA

<http://www.garage-vanna.com>
TOYOTA 40ALPHARD
• 21×9.5J+35
• 245/40 R21 [Michelin]



東京オートサロン発表の
新作ホイールをピックアップ

Wheel Collection 2024

シュヴァート・ブルネン

SCHWERT BRUNNEN

Work 06-6746-2859 <https://www.work-wheels.co.jp>



シルキーリッチシルバー



プリリアントシルバーブラック

シルキーリッチシルバーはプレミアム感が強く、高級志向なスタイリングとの相性がバツグン。オーナメントもシルバーで上質だ。プリリアントシルバーブラックは光輝感もしっかりだが引き締まり度も大。オーナメントはマットグレー色。リムの標準カラーはバファルマイトだ。

カスタムオーダープランにも対応。ディスクカラーの変更やリムアレンジ、センターキャップのセレクトなどで自分仕様も実現できる。



鑄 造美の追求をコンセプトとするシュヴァート・ブルネンは「黒皮」という鑄造の持つ美しさにこだわり、流れる水のごとき流麗な意匠を鑄造・黒皮ならではの曲線美を表現した。この新たに与えられたネーミングの「ブルネン」とは、ドイツ語で泉を差す言葉であり、水に例える鑄造美を生み出すシュヴァートブランドのもうひとつの展開だ。U字ツインの両脇をフィン形状のストレートスポークで挟んだそのスタイルは、フィンとメッシュとを融合させたような独特の意匠。内側のメッシュは幾重にも連なるやわらかなアールで描かれていて、天面は究極まで細く研ぎ澄まされたシャープな装いとなる。

曲線美が生み出す流麗さと、ディスクの表面処理をしないからこそ実現できた鋭さとこのバランス感が絶妙だ。スポーク先端はまさに極細な設計で、アンダーカットも採用されるため軽快感も強く、リムへの映り込みも美麗。スポーク自体が高反差感の強い立体造形となるため、コンケイブフォルムを確実に描けるのも魅力だ。2ピース構造だからインセットはミリ単位で指定でき、カスタムオーダープランにも対応できるのもブルネンの武器。ディスクカラーやリムアレンジ、センターキャップの変更など、オーダーを駆使すれば世界に一本の自分だけの仕様も追求できる。



Matching Car

PIT BULL

https://pit-bull.jp
 TOYOTA 40VELL FIRE
 ・F=21×10.0J+16/R=21×10.0J+10
 ・245/40 R21 [NITTO]

石川県のプロショップ「ピットブル」のヴェルファイアにセットアップしたLDZ 21インチ。ビッグボディのヴェルファイアの迫力に負けない足元を演出。F+16、R+10というインセットでリムの深さもバッチリ!



原点回帰のト定番ディッシュデザイン
 令和の時代に新たなトレンドを!



決して重すぎないが重厚感がしっかりで、プレミアムなオーラを放てるのがLDZのアドバンテージ。オーソドックスでトラッドな香りを、あえて新型車と合わせるのもオシャレだ。

SIZE	H-PCD	PRICE
18×7.0J~12.5J	5-114.3	6万3800円~7万8100円
19×7.5J~12.5J	5-114.3, 5-120	7万5900円~8万9100円
20×8.0J~12.5J	5-114.3, 5-120	8万8000円~10万100円
21×8.5J~12.5J	5-114.3, 5-120	10万6700円~12万6500円

・カラー:ブラック、カットクリア
 ・構造:鋳造2ピース

ホイールとクルマの一体感で魅せられるのが魅力だ。
 センターキャップを60φとすることで、オーブンナットを継承しながらも、LD1から進化したフライングディッシュ感をプラス。開口部のサイズ感にも深くこだわり、ゆるやかなアールで開口を描くことで、ハードすぎず重すぎないフォルムを実現したのもポイントだ。ディスク自体がラウンドしているため、リム深度をしっかりと確保できるのも特徴。ピアスポルトも添えられていて、重厚なプレミアム感とパワー感が好ハランスだ。
 その堂々たるディッシュフォルムは、90年代後半から2000年代へかけてのミニバンカスタム絶頂期を彷彿とさせる。その味わいは、令和の時代だからこそ深い。新型車種たちに、ぜひ。

ミニバンカスタム絶頂期を思わせる「ディッシュ」がキョツ!!



ランベック・エルディーゼット

Lanvec LDZ

問い合わせ ☎06-6746-2859 <https://www.work-wheels.co.jp>



カットクリア

ブラック

シンプルな意匠だからこそ開口部のサイズ感や断面形状、ディスクとリムとのクリアランスといったディテールに深いこだわりと精度の高さが込められる。重厚なプレミアム感はまさに王道だ。ノームコア感を加速させるセンター部、しっかりと深いリムも原点復帰仕様に最適。

もちろんカスタムオーダープランにも対応



標準色はブラックとカットクリアの2色で、リムはパワアルマイト。ただしコンセプトであるノームコアに忠実であるため、カスタムオーダーにはリムアレンジ限定で対応する。それでもブラックアルマイトやブラッシュなど選択技は豊富。インセットもオーダー式。

ノームコア究極の普通をブランドコンセプトとするランベックに、またひとつ魅力的なノームコアデザインが投入された。前作のLD1からさらなる進化を遂げた、ランベックLDZ。まさにト定番と呼ぶに相応しい、ディッシュの原点へと回帰した王道の2ピースだ。
 潔いほどにシンプルなその姿は、時代の波にも流されず、飽きがくることもないまさにシンプルイズベストな意匠。クセがないからこそどんなクルマにも馴染み、

Wheel Collection 2024

